

## ◇夢

職員室を出て授業に向かう。しかし目指す教室が見つからない。他の教室ではとうに授業が始まっているのに、自分だけ校内を行ったり来たり。やっと教室に入った途端、教材の準備をしていなかったことに気が付いて焦っている。そこではっと目が覚める。退職してから何度も見た夢です。

私は教員としてどんな授業をしてきたのだろうか。中途半端な授業をしてきたことのがやましが心の奥から噴出して夢になっているのではないかと思ったりします。

## ◇「問」と「答」との間

教育学者の太田堯氏（1918～2018）が約50年前に書いた文章に次のようなものがあります。

決まりきった「問」に決まりきった「答」を出す人間、私に言わせると、「最大の能率・最小の個性」ともいべき昆虫の様な人間が、今の教育の中では求められ、又当然のこととして日々の授業の中で作り出されているように思えてならない。また、いわゆる「できる子」の多くがそういう能率的な人間の典型であったりする。

…（中略）…

問に直面して、それに対する過程で、ああも考え、こうも考える、いろいろ曲がりくねって考えた末に答えを出す。…その間で人間は発達をとげるといふようなものだと思う。いわば問と答との間には教育と学習の本質がある…

（『学力とはなにか』1969・国土社）

決まりきった解答に誘導する授業をしていたのではないか。模範解答を速答する「できる子」を作り出す授業だったのではないか。「問と答の間」を軽視してきたのではないか。私は教員としての過去を振り返って、これらのことを明確に否定することができません。

## ◇学ぶことの楽しさ

私が、学ぶことを本当に楽しく思えるようになったのはつい最近、退職してから何年もたつてからで、なんともこれは罪深い。できることなら、今から学生時代をもう一度やり直したいと思う昨今なのであります。



## ◇新型コロナウイルスで世界中が大混乱です。こういう時こそ、冷静に優先順位を確認する必要があると思います。まず今危険にさらされている人命が最優先、次に今日の生活に困っている人支援、そこに全力を注ぎ、オリンピックやカジノなど不要不急のものはやめる。でも、緊急事態でない平常の時でも結局この順番ですよ。

## ◇『育ちと学び』も混乱に巻き込まれました

メインの記事「すなっぷ」は、予定していた高校の部活動、生徒会活動の取材ができず、掲載を断念しました。部会活動も中止が続きました。ニュース集めが厳しい状況が続きます。皆さんからの情報が頼りです。身近な出来事をお手紙で知らせてください。お待ちしております。

## 今後の主な予定に代わって

新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、しばらくの間、部会活動や運営委員会の開催を休止します。例年、5月末から6月にかけて開催してきた定期総会の開催も断念せざるをえません。今年度の活動のまとめと今後の方針をまとめた冊子を別途郵送することで総会に代えさせていただきます。よろしくご理解ください。ニュース「育ちと学び」45号は7月末に発行する予定ですがこれもその時の状況次第であることをご了解下さい。

育ちと学び No. 44 ぐんま教育文化フォーラム

2020年4月24日 発行

〒371-0026 前橋市大手町3-1-10 群馬県教育会館3F

[TEL・FAX] 027-235-8876 [IP電話] 050-3419-3803

[E-mail] g-kyoken@nifty.com

[URL] <http://gkb-forum.sakura.ne.jp>



スマホからホームページへ👉

